

科目名	教育政策特論	担当教員	寺脇研
科目属性	専門科目 B	単位数	2単位（面接0.5単位）
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>教育法規及び教育政策について、戦後教育史の流れを踏まえ、その間の中央、地方における教育行政の動きを検証する。特に、戦後日本の教育政策がどのような教育行政組織によって行われてきたのか。また、その機能が法規上どうなっているのか。中央と地方の2つのレベルから教育制度や教育行政制度の変遷を考察する。そうした中から、日本の教育の今後の課題を論じる。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <p>1. 戦後日本の教育政策について、教育内容に関わる部分に重点を置き現代的な課題を把握する。</p> <p>2. 戦後日本の教育行政の展開と課題について、歴史を踏まえた多角的検討を通して現代的な課題を把握する。</p> <p>今後その実現が必須のものになる共生社会を前提にした教育の在り方とその意義について理解し、共生社会のあるべき姿を描いた上で、それに資する方策を具体的に立案することができる。</p>			
<p>【授業計画】</p> <p><授業計画></p> <p>1. 戦後日本の教育政策について（第1回～第5回相当） ①教育法規（学習指導要領を含む）の歴史の変遷 ②「ゆとり教育」と「学力低下論」の議論の本質 ③共生社会において必要な学力、スキルの検討</p> <p>2. 戦後日本の学校教育制度、教育行政の展開と課題について（第6回～第10回相当） ①学校教育制度の変遷と課題 ②教育法規、教育行政の変遷と課題 ③共生社会における学校教育制度、教育行政の在り方についての検討</p> <p>3. 共生社会に資する教育上の方策の立案と報告・討議（スクーリング）（第11回～第15回相当） ①共生社会における教育の意義や役割について討議 ②（①を踏まえて）共生社会のあるべき姿やそれを実現するためのあるべき方策を報告・討議</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>「スクーリング評価」（25%）、「レポート評価」（25%）、「科目修得試験」（50%）の割合で総合して評価する。</p>			
<p>【教科書】</p> <p>「大田堯・寺脇研が戦後教育を語り合う」（大田堯、寺脇研 ISBN：9784761920418）</p> <p>『学ぶ力』を取り戻す」（寺脇研 ISBN:9784766419818）</p> <p>「文部科学省」（寺脇研 ISBN:9784121504760）</p>			
<p>【参考図書】</p> <p>「2050年に向けて生き抜く力」（寺脇研 教育評論社） （ISBN:9784905706380）</p> <p>「教育をめぐる虚構と真実」（神保哲生、宮台真司 春秋社） （ISBN: 9784393332832）</p>			